

2026 IIDA CITY COMING OF AGE CEREMONY



旧飯田測候所（イルミネーション）（橋北）



追手町小学校校舎（橋南）



飯田西中学校正永寺桜（羽場）



郊戸八幡宮秋季祭典（丸山）



桜並木と飯田線（東野）



麻績の里舞台桜と旧座光寺麻績学校校舎（座光寺）



鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭（松尾）



TOJ（ツアーオブジャパン）信州飯田ステージ（下久堅）

今、ここから始まる未来…。

令和7年度 飯田市二十歳の集い記念誌

WISH



越久保から神之峰を望む（上久堅）



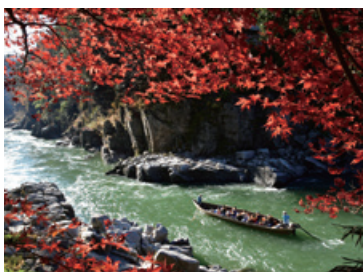
よこね田んぼ（千代）



龍江かるた（龍江）



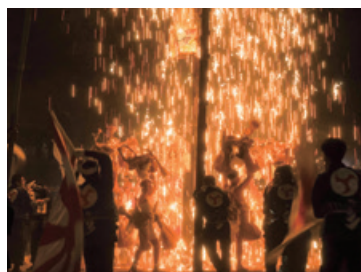
塚原二子塚古墳（竜丘）



天龍峽十勝とライン下り（川路）



柿すだれ（三穂）



七久里神社秋季祭典（裸祭り）（山本）



伊賀良小学校のソメイヨシノ桜 新一年生の手を引いて（伊賀良）



上山地区の獅子舞（鼎）



飯沼諏訪神社の夜桜（上郷）



しらびそ高原星空（上村）



道の駅遠山郷（南信濃）

二十歳の節目を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。 希望に満ちた皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。

実行委員長あいさつ

自分のふるさと・地域を心に



今年飯田市では、一〇〇九名の方が二十歳を迎えました。ご関係される全ての皆様に心よりお祝いを申し上げます。今まで生まれ育った地区での暮らし、学校生活のことなど、たくさん思い出があるのではないかと思います。この節目に、二十年間の大切な思い出をご家族やご友人、地域の皆さんと共に振り返ってもらう機会としていただきたいと思います。

今、公民館では中学生・高校生をはじめ、若者に活躍してもらう場面が増えてきています。その活躍に心動かされ、一緒に動き出す地域の大人も増えていきます。そこでは、若い人たちの行動に、地域の大人たちの取組や支えに、お互いが感謝し合い、認め合える関係が生まれています。各地区で実行委員会を組織し、二十歳の皆さんとともに開催しているこの「二十歳の集い」も、同じような関係性が築かれる機会であると捉えています。ぜひこの機会に、これまでのご自身の歩みに、その歩みとともに進めてきた周りの皆さんと「ありがとう」を伝え合ってみてください。

そして記念誌「WISH」には、今日この日を迎えられた各地区の代表者の方に「二十歳になって思うこと」と、ふるさとの良さに触れ、地域の魅力とは何なのかを改めて「地域の魅力再発見」としてまとめていただきました。記念誌の題「WISH」には、「願い」という意味があり、その一字一字に込められた皆さんの決意や地域への願いを、未来へと紡いでいきたいと考えています。

皆さんがご自分のふるさとや、その中での人とのつながりを今後も大切にすることで、地域全体の魅力が深まります。心の根っこに「地域」を持ちながら、将来を築いていくことを期待しております。これからの人生が実り多きものとなり、様々な方面でますます活躍されることを心よりお祈りいたします。

令和八年一月吉日

飯田市二十歳の集い実行委員長
(飯田市公民館長)

山下 正康

市長あいさつ

皆さんとともに、飯田を日本一住みたいまちへ



二十歳という節目を迎えられた皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。皆さんが今まで歩んでこられた道のりに、心から敬意を表します。また、ご家族や地域の皆様が寄せてこられた支えに、深く感謝申し上げます。

飯田市は、天竜川と南アルプスの自然の恵みに抱かれ、先人たちが守り育ててきた文化と暮らしが息づくまちです。とりわけ、私たちの地域には「ムトス」と呼ばれる「結い」の精神―互いに支え合い、力を持ち寄って未来をつくる文化が根付いてきました。皆さんも、この地で育つ中で、人と人とのつながりの大切さを、自然と感じてこられたのではないのでしょうか。

二十歳を迎える皆さんの歩みは、一人ひとり違うものです。進学を選んだ人、働き始めた人、考える時間を大切にしている人、新しい挑戦を始めようとしている人―

そのどれもが等しく尊く、かけがえない人生の形です。飯田市は、多様な生き方を認め合い、互いの違いを尊重しながら、共に支え合う地域でありたいと考えています。

これから皆さんが進む場所がどこであっても、皆さんの感性や経験は、このまちの未来につながっています。私は、皆さんと一緒に「日本一住みたいまち」を目指して歩んでいきたいと願っています。住み「たい」という言葉には、主体的な意思が含まれています。そこに住みたい理由は、人それぞれ。もともと色々なものが高いレベルで揃っているこのまちで、市民の皆さんの夢や希望を一つ一つ形にし、困りごとを一つ一つ解決することを地道に積み重ねていけば、いつか必ず「日本一住みたいまち」になると確信しています。

いつでも帰ることができ、関わりたいたときに関わることができ、自分らしく暮らせる。そんな「ふるさと飯田」を皆さんとともにつくっていただけることを心から楽しみにしています。

これからの人生が、希望と可能性に満ちたものとなりますよう、御祝とともに心より祈念いたします。

令和八年一月吉日

飯田市長 佐藤 健